

## 第6学年 家庭科学習指導案

### 1 題材名 住まいのマネジメント Part 2

～ わが家に合う、環境に配慮した掃除の仕方を考えよう～B (6) ア (イ), イ C (2)

### 2 題材設定の理由

#### (1) 題材について

この題材は、小学校学習指導要領内容「B 衣食住の生活」の(6)「快適な住まい方」のア(イ)「住まいの整理・整頓や清掃の仕方」及びイ、「消費生活・環境」の(2)「環境に配慮した生活」を関連付けて構成している。5年時に学習した「整理・整とんで快適に」に続き、気持ちよく生活するために、住まいの掃除が必要であることが分かり、掃除の仕方を理解し、「健康・快適・安全」「持続可能な社会の構築」などの視点から考え工夫して掃除ができるようになることをねらいとしている。中学校との関連については、「住居の機能と安全な住まい方」や「衣食住の生活についての課題と実践」とつながるように学習を進める。

#### (2) 児童の実態について

子どもたちはこれまでに「生活時間マネジメント」「朝食マネジメント」として学習を進めてきた。生活時間や朝食について日常生活の実態把握を行い、その中から子どもたち各々が課題を設定し、解決に向けて計画・実践をした。そして、評価・改善することでマネジメントの継続を示唆してきた。

本題材でも「住まいのマネジメント」として、まず、実態把握のために、自分の部屋（自分が主に使っている場所）と家族みんなで使う所の整理・整頓や掃除についてのアンケートを実施した。その結果は、自分の部屋の整理・整頓には関心を持っている子が半数ほどいるが掃除まではできていない。家族みんなが使う場所については、家族まかせである子がほとんどであった。しかし、学校での掃除活動や最高学年として学校行事を運営している姿を見ると、いざというときには機転が利き、頼りになる活躍が期待できる。それが日常の生活と結びつくように、また、家族の一員として、自分たちの整理・整頓や掃除について見つめ直し、問題に気づき、改善するために考えを深められるようにしたい。

#### (3) 指導について

本題材の導入では、住まいのマネジメントとは何なのかを考える。そして、学校や家庭での整理・整頓や掃除を振り返ることで、自分の生活を見つめ、整理・整頓や掃除の仕方について問題を見いだして、わが家に合う、環境に配慮した掃除の仕方を考え、課題を設定する。

次に、整理・整頓や掃除についての知識・技能を身に付け、実践できるようにする。掃除については、学校の汚れを調べることで、見落としていた汚れに気づいたり、その汚れを落とす方法を考えたりする。その学習をもとに、わが家の掃除を考えたり見直したりし、工夫・改善ができるようにしたい。本時では、自分たちの掃除の実践を振り返り、良かった点や改善したいと思う点を一人一台のタブレット端末を活用したオンライン共有ボード（キャッチボード）で共有し合うことで、わが家の掃除実践を考える活動を行う。

最後に、計画を家庭で実践し、実践報告会を行う。住まいのマネジメントとは何かについて、考えを深め、工夫し実践しようとする態度を育成したい。

### 3 題材の目標

- 住まいの整理・整頓や掃除の仕方・環境に配慮した物の使い方について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。(知識及び技能)
- 整理・整頓や掃除の仕方及び環境に配慮した物の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。(思考力・判断力・表現力等)
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと、環境に配慮した快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善してりして、生活を工夫し、家庭で実践しようとする。(学びに向かう力，人間性等)

### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。</li> <li>・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。</li> </ul>	住まいの整理・整頓や掃除の仕方環境に配慮した物の使い方などについて問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、環境に配慮した生活、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

### 5 指導と評価の計画 (全6時間)

学習過程	時間	小題材名 ○ねらい ・主な学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	1	1なぜそうじをするのだろう ○住まいの掃除が必要であることを理解することができる。 ・かびやダニの健康への影響を知り、学校や家庭での掃除について見直し、なぜ汚れるのか、何のために掃除をするのかを考え発表する。			①快適な住まい方，環境に配慮した生活について，課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。(発言・ワークシート)
	2	2どのような汚れがあるのだろう。 ○場所ごとの汚れの種類や特徴を考え、汚れやごみを少なくするために、生活の仕方や清掃の仕方を見直す。 ・どんな汚れがあるか学校のごとの調査をし、記録する。 ・汚さない生活や汚れにあった掃除の仕方を考える。		①掃除の仕方について問題をみいだして課題を設定している。	
		3知ってるかな，掃除の仕方	①住まいの整理・整頓	②健康・快適で環境に	

3	<p>○清掃の仕方について問題を見出して課題を設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れを落とす方法を知る。</li> <li>・汚れに合った掃除の仕方を調べたり，家族にインタビューしたりして，気づいたことを交流し掃除の計画をたてる。</li> </ul>	<p>や清掃の仕方について理解しているとともに適切にできる。 (行動観察・ワークシート)</p>	<p>配慮した住まいの掃除の仕方について実践に向けた計画を考え，工夫している。 (ワークシート)</p>
4	<p>4 どうしたらきれいになるだろうか</p> <p>○汚れやごみの種類，その場に合った清掃の仕方を考えて計画を立て，工夫をして清掃をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除の計画をしよう</li> <li>・汚れに合わせた掃除の仕方を工夫し，写真や動画を撮影する。</li> </ul>	<p>②自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。 (行動観察・ワークシート)</p>	
5	<p>5 わが家の快適に生かそう</p> <p>○掃除の実践を振り返って評価・改善し，わが家の掃除に生かすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除の実践を評価し発表する。</li> </ul> <p>本時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践を発表し合いよいところやアドバイスを伝えよう</li> <li>・掃除場所ごとのグループで改善策を話し合う。</li> </ul>		<p>③掃除の仕方について，実践を評価したり改善したりしている。 (発表)</p>
	家庭で実践		
6	<p>6 実践を報告し合おう</p> <p>○家庭での実践を報告し合い実践計画を見直し，改善することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの工夫やアドバイスを参考に家庭での生活への生かし方を考える。</li> <li>・掃除の実践を振り返る。</li> <li>・考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付け，生活を工夫し，実践しようとする。</li> </ul>		<p>④実践を評価・改善したり，考えたことを分かりやすく表現している。(発言・ワークシート)</p>
家庭	<p>・家庭で整理・整頓や掃除など，学習したことを実践する。</p>		

②快適な住まい方，環境に配慮した生活について，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。

③快適な住まい方，環境に配慮した生活について工夫し，実践しようとしている。  
(発言・ワークシート)

6 本時の学習

(1) 目標

清掃の仕方について、学校での掃除の仕方を振り返って評価・改善することができる。

(2) 展開

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5	1 家庭実践に向けて、前時の実践から学び合うことを確認する。	・実践の内容・振り返りをまとめた物を iPad の発表ボードで共有する。	<p>・掃除の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>※ iPad のテンプレート</p>
	わが家に合う、環境に配慮した掃除の仕方を考えよう		
20	<p>2 グループに分かれて掃除の実践を班で発表する。</p> <p>・よかったこと</p> <p>・改善したいこと</p> <p>・わが家の掃除に生かしたいこと。</p>	<p>・「健康・快適・安全」「持続可能な社会の構築」の視点から掃除の仕方を考え、さらに工夫することができるようにする。</p> <p>・多様なアイデアを伝え合い、思考を広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	
15	<p>3 質問をしたり、わが家に合う、掃除の仕方を評価・改善したりして、家庭での実践について考え、発表する。</p> <p>・改善点をまとめる。</p> <p>・今後生かしたいことを話し合う。</p>	<p>・効率的な清掃の仕方や洗剤や水の節約、不用品の活用にも気づくことができるようにする。</p> <p>・洗剤等の使用に際しては必ず表示を読む必要があることに気づくようにする。</p> <p>・さらに工夫して次の実践に主体的に取り組めるようにする。</p>	
5	4 本時の振り返りを書く。	・iPad の発表ボードで共有する。	

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と評価される状況	・家庭での掃除の実践に向け、環境に配慮するなど、あらゆる面から快適な住まいのマネジメントを見直し、実践計画を改善しようとしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	・基礎的・基本的な知識を活用し、さらに、掃除の実践発表を受けて計画を見直したり、付け足したりするなど、工夫して実践計画を改善できるようにする。